

あつま

議会だより

12月定例会号

No. 130

平成 20 年 1 月発行



スケトウの網外し

目次	掲載ページ
○平成 18 年度各会計の決算を認定	2～3
○委員会活動レポート	
・総務文教：特定健診・特定保健指導、職員の再任用制度、 産業廃棄物に対する町の対応	4
・産業建設：環境衛生公園の整備、厚真川河川改修事業の促進、 本郷団地内の町道整備	5
○一般質問	
・次期町長選挙の出馬、漁業振興……………木戸嘉則	6
・上厚真市街地の街並み・街路整備、本郷の沢川の人道橋……………木本清登	7
・循環福祉バスの運行、エゾシカ被害防止対策……………渡部孝樹	8
・パワーハラスメント対策、町財政……………三國和江	9
・広域連合と事務の権限移譲、町税等の滞納問題と予防措置……………井上次男	10
・町の行財政、企業誘致、町内小学校の管理と教育……………木村幸一	11
・保育行政……………海沼裕作	12
・公共施設の維持管理計画、子育て支援、農害獣の総合的対策、 行政改革、現金の管理方法……………下司義之	13
○追跡レポート!!一般質問「その後」	14
○議決案件（賛否状況）	15
○臨時議会報告、町民のこえ	16

平成18年度決算を認定

平成19年第3回定例会で、決算審査特別委員会（渡部孝樹委員長）に付託された平成18年度各会計の歳入・歳出決算について11月14・15・16日の3日間、委員会を開催し、審査の結果、各会計とも全会一致で認定しました。
委員会審査中の多くの質疑の中から、抜粋してお知らせします。

総務課

Q 自治会配付物について、自治会の手間を少なくすることができないか

A 一昨年から、内部で協議しているが、発行時期を統一することは、情報を早くするという面から困難である。協働の町づくりの一環として理解していただきたい。配付物の減少等には努めていきたい。

Q 交際費の中で、開発局等にビール券というの

があるが、地元の特産品を活用してはどうか。

A 持参しやすいということを使っていく。今後特産品を検討したい。

保健福祉課

Q 福祉センター大集会所の調光卓や研修会用機器の設備が必要でないか

A 業者と打ち合わせを行っている。利用効果も含めて検討したい。

Q 京町保育園とへき地保育園の園児1人当たりコストは。

A 京町の場合は、年間1人当たり112万2千円、へき地の平均は、49万3千円となっている。

まちづくり推進課

Q 定住化促進のためDVDを作成し、広告の効果は。

A 500枚くらいのDVDを配布。ルーラルビレッジの問い合わせや見に来た人が30組以上あり効果あったと思う。今後企業向けDVDとパンフレットができ次第、さらに活動を進めたい。

Q F15が配備されると家畜への影響ということも考えておかなければならないのでは。

A まだ調査はしていない。F15の訓練計画が決まってから検討したい。



決算審査特別委員会

産業経済課

Q エゾシカの個体駆除により生息数は減っているのか。町域で駆除したという確認はどのようにして行っているのか。

A 駆除しても、出産サイクルが早いいため減っていないと思うが、個体駆除は被害軽減最良の方法と思う。どの地点で駆除したかをメッシュ図に表すこととしている。

交流促進センター

Q 入浴数の減少している理由、原因は。

A 同様施設が近隣にできたことで、日高ネットワークでも同様の減少傾向にある。

Q 指定管理者制に移行する考えは。

A 前向きに考えているが、移行は21年度くらいと考える。

建設課

Q 浄化センターができた当初の委託業務料から見ると、倍増している理由は。

A センター開設当初は、市街地のみ70ha程度の管理であり、その後、本郷地区が入り139haと広範囲にわたっていることなどである。

Q 上水道の塩ビ管継ぎ目は震度7程度に耐えられるのか。

A 現在のものは離脱防止装置の付いているものであり、さらに腐食防止シートもあり、40年程度はもつと思う。

教育委員会

Q 生活館等の屋根や外壁の維持管理計画は。

A 建築担当の意見を聞き、必要部分の補修を行っている。中長期的な、補修計画を立てていく。

Q 心の教室相談員設置で、深刻な相談はあるのか。また、相談内容が校長を通して報告されるのであれば、相談員に話さないのではないか。直接報告を受けるようにしている。

A 深刻な相談ケースの報告はない。十分配慮しながら事業を進めたい。

平成18年度の各会計
決算は、平成19年第4
回定例会で、委員長報
告のとおり全会一致で
認定されました。

年賀状等の欠礼について

平成二年に、お金のからない政治の実現と選挙の公正化を目的として、寄付の禁止の強化等を内容とする公職選挙法の一部が改正されました。このなかには、町議会議員が町民の皆さまへ年賀状等の時候のあいさつ状を出すことについても、厳しい禁止規定が設けられました。

この法改正により、町民の皆さまには礼を失するような結果を招くこととなりましたが、議員個々においてはお互いに町民各位に対し、年賀状を出すことができない状況にありますので、この点よろしくご理解を賜りますようお願いいたします。

町民各位のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

厚真町議会

サンデー議会を開催 (3月定例会)

議会では、たくさんの方に議事を傍聴していただくため、3月9日(日)(一般質問の実施日)議会議事堂でサンデー議会を開催する予定です。

どうぞお気軽にいらしてください。

日程など詳しい内容は、議会開催前に防災無線等でお知らせします。

*議会傍聴に関するお問い合わせは議会事務局
(☎27-2321)まで

議会の動きをあなたの目と耳で

総務文教常任委員会

委員会は去る10月22日、11月6日、事務調査を行い、その結果を第4回定例会に報告した。事務調査6件より抜粋。

特定健診・特定保健指導

質疑概要

Q 厚真町には特養の老人ホームがあるが、待機者も多い。特養の増設や高齢者専用賃貸住宅の設置も検討する必要があるのではないか。

A 北海道が療養病床の再編をするので、地域ケア体制整備事業の中で、東胆振圏域でどのようにするか検討している。地域の実態を十分把握しながら保健所を通して国に

意見を述べていきたい。

Q 新聞ではメタボリックシンドロームの診断基準となる、腹囲の基準値が変わる予定とのことだが、町としてはどう対応するのか。

A 現在のところ平成20年4月の時点では、男性85cm、女性90cmで実施するようにという通達なので、そのままこの基準で行う予定である。2年後くらいに見直しされると思う。

職員の再任用制度

質疑概要

Q 再任用の年度ごとの予定人員はどうか。

A 何年に何人採用するかということはまだ全然決めていない。あくまで

もそのときの業務を見ながら、任用していくことになると思う。

Q 給与については、給料表の適用最低1級で抑えるべきと考える。これ以上高い水準だと町民の理解は得られないと思うが。

産業廃棄物に対する町の対応

A 平成13年提案したとき、給与水準が高すぎるということもあったので、そういった意見を前提に

本件は、先般8月20日に町民の方から議会へ要望書が提出されたことを受け調査したものである。

要望の内容については、ある廃棄物の処理について、町に相談をしたが、適正な対応をしてくれなかったというもので、本委員会としては、事実関係をきちんと把握するために、町に対してこの事件の経緯について報告を求めた。

質疑概要

Q 今回、環境汚染という事実が発生したわけだが、一連の町の対応に問題がなかったのか。

A 今回の対応については、町としては法律に基づいた権限の範囲で処理

して考える必要があり、今は1級でと考えている。だいたい18万円にがしということになると思う。

をしているので、問題ないと考えている。

Q 家屋林が枯れたことについてであるが、厚真町には環境基本条例があり、この中に環境に対する負荷に対する町の措置のことが書かれているが、条例に基づいた対応がされたのか。

A この家屋林については、個人の家の周りという限定された地域に植えられているものである。何年か前に松食い虫で、本州で松が随分被害に遭ったという例があったが、ある程度被害が広範囲にわたるものであれば、行政が原因を調べる必要があるかなと思う。この件については、行政がそこまですべきでないと考えている。

産業建設常任委員会

委員会は去る10月23日、事務調査、現地調査を行い、その結果を第4回定例会に報告した。事務調査5件、現地調査1件より抜粋。



環境衛生公園を現地調査

環境衛生公園（浜厚真海岸）の整備

質疑概要

- Q** 環境衛生公園の名称の由来は。
- A** 管理棟などの整備だけを目的としたためそのような名称になったと推測する。
- Q** 浜厚真海岸は多くのサーファーの利用があり、簡易なシャワー施設を設置してどうか。
- A** 利用者がほとんど町

厚真川河川改修事業の促進

質疑概要

- Q** 議会報告会で、ある方から改修断面が過大でないかという話があったが、流量計算はどのようになっているか。
- A** 50年一度の降雨確率で計画されているが、現在は10年一度の降雨確率

に対応する暫定断面で改修している。

- Q** 河川改修がある程度進んで、ほとんど水害は起こらないだろうという考え方もあると思うが、長期的に見て今後も河川改修は必要であるという理由は何か。
- A** 上地区の方が多大な

本郷団地内の町道整備

質疑概要

- Q** 本郷団地1号線と8号線を結ぶ道路整備はできないか。
- A** 今は空き地になっていて、公営住宅跡地の利用計画ということが定まっていないので、決まり次第検討していかなければならぬと考えている。
- Q** 本郷の沢川の人道橋を車が通れる橋に架け替えできないか。
- A** 一般的に25tの設計荷重が、安全に渡れる前提条件となる。そういう状況も含まれてくるので、町が設置管理するということはきちっとした形のものが必要だと思ふ。
- Q** 橋の架け替えについては、やる気があるのかどうかという問題が問われていると思うが、正規な橋でなく、ある程度の重量制限をして車が通れるようにできないか。
- A** 公営住宅の入居者の入れ替えがあると思うので、新しい方の意見もとらえる必要があるが、管理責任は町にあり、安易なことではできないことはご理解願いたい。

町政を問う



一般質問

12月定例会の一般質問を要約してお知らせします。

詳しく知りたい方は、議会事務局、インターネット上または青少年センター図書室で会議録を閲覧できます。

次期町長選挙

Q

次期町長選挙への出馬は

A

今限りとし残された期間
町民の生活安定のため最大の
努力をする

次期町長選挙の出馬

問 平成20年7月に厚真町長の任期満了に伴う選挙が執行される予定になっている。

次期町長選挙の出馬について、どのように考えているのか。

町長 10月に入ってから私の後援会の動きが出てきた。12月2日に私の後援会の幹部会議の開催の連絡があった。次期町長選の進退について、私の考えを明らかにすべきであるという思いから文書で提出した。一つには私は76歳である。二つには行財政は、今後とも厳しい状況が続くと思う。このことを考えると、新しい感覚で新しい発想での

まちづくりのリーダーを町民の皆さまは、求めていると思う。以上のことを幹部会議に提出した。

そして、今限りで町長選挙に出馬しないことをご理解願いたいとコメントに書かせてもらった。

12月9日に2回目の幹部会議があり、町長としての考えを求められた。私は今限りで退くことについての考えは変わらないので、ご理解願いたいと申し上げた。

7月まで残された期間を誠心誠実に初心に帰って町民の皆さまの生活の安定、幸せのために最大の努力をする決意である。



木戸嘉則議員

Q

漁船用燃料代に助成を

A

国・道の動向を見て町としての支援を検討する

漁業振興

問 原油の高騰を受け漁船用重油の価格が1キロリットル8万円を超えている。3年間で2倍に跳ね上がって、漁業支出に占める燃料経費の割合は、

20%以上と他産業に比べて深刻な影響を及ぼしているが、燃料代に助成をしてはどうか。

町長 漁業操業に当たって燃料のことで大変ご苦労されていると思う。実は漁業だけではないと思っっている。深刻な問題なのは間違いない。

他産業もあり、国・道の動きも出てきている。また、漁業団体が国・道に対して猛運動をやっているの、別な形での支援体制ができてくるんだらうと期待をしている。

今後、国・道の動きを見て、厚真町としてどういう支援ができるか検討していきたいと思っっている。

問 一次産業、商工業など他産業全体ではどうか。
町長 それぞれ動いているから、自分たちの団体を含めて何かの形で支援策は出てくると思うので、その辺の成り行きを見て検討していきたい。

上厚真市街地の街並み・街路整備・本郷の沢川の人道橋

町長 地域の皆さんとの話し合いが必要である。

上厚真市街地を街並みと、街路整備及び宅地分譲計画等を事業として行うことが、これからの厚真町全体の定住化促進、人口増加、また、厚南地区の発展につながると思うが。

町長 地域を職場とする若い世代には、買い物、通勤、子育てなど一番居住環境の良い魅力的な街になると思われる。

町長 上厚真市街地の街並み・街路整備

A 補助事業での整備は困難である

Q 上厚真市街地の街並み・街路整備の推進は

町長 地域の皆さんとの話し合いが必要である。

上厚真市街地は、苦東地区に隣接し、また、各公共施設が整備されている。あとは市街地だけを整備することで、苦東地域を職場とする若い世代には、買い物、通勤、子育てなど一番居住環境の良い魅力的な街になると思われる。

町長 上厚真市街地は、苦東地区に隣接し、また、各公共施設が整備されている。あとは市街地だけを整備することで、苦東地域を職場とする若い世代には、買い物、通勤、子育てなど一番居住環境の良い魅力的な街になると思われる。

町長 上厚真市街地は、苦東地区に隣接し、また、各公共施設が整備されている。あとは市街地だけを整備することで、苦東地域を職場とする若い世代には、買い物、通勤、子育てなど一番居住環境の良い魅力的な街になると思われる。



木本清登議員

上厚真地区と厚真地区との考え方の温度差をなくすため、町長の卓越した行政手腕を持つて早急に厚南地区発展のための

Q

本郷の沢川の橋架け替えは

A 22年以降の計画に入るか検討したい

町長 本郷の沢川の人道橋

町長 現在本郷西線と本郷団地11号線の間の人道橋は、マナビイハウスへの移動、緊急時の突発事態などを考慮すると、一刻も早く乗用車及び緊急車両なども通行可能な橋へ架け替えが必要と思うが。

道筋をつけていただきたいと思います。

町長 合併問題については、限られた人の意見であり、決して地域の皆さんの声だとは思っていない。いずれにしてもそういう声が出たということ、今後の参考として、上厚真地区の発展に取り組んでいこうと思っている。

町長 当時、自治会との話し合いの中で、理解を得た時代もあった。車社

町長 当時、自治会との話し合いの中で、理解を得た時代もあった。車社

町長 当時、自治会との話し合いの中で、理解を得た時代もあった。車社



本郷の沢川の人道橋

町長 9号・10号・11号線の舗装などを含めて、そこに大型予算を投入することはいいかなものかと考えている。当面20年、21年に実施するということは、明確には答弁できない。

循環福祉バスの運行・エゾシカ被害防止対策

Q

デマンド交通システムの検討状況は

A

年明け早々に最初の検討委員会を開催する

循環福祉バスの運行

問 6月定例会で循環福祉バスに代わるデマンド交通システム導入について質問したが、その後の具体的な検討内容は。

町長 検討委員会の設置に向けての要綱の作成や関係資料の収集等に当たっていて、年明け早々に最初の検討委員会を開催することで、現在N T Tの担当者と協議をしている。

問 導入に当たってはデメリットもあると思うが、それ以上のメリットを發揮させられるようシステムを構築することが大事と思う。要綱の作成や関係資料の収集はどこまで進んでいるのか。

保健福祉課長

要綱の制定は、町長決裁を取るところまでである。資料収集はN T T、他の町村の取り組み、補助制度を含めて当たっている。導入の可否について検討委員会で検討していきたい。

Q

今後のエゾシカ被害防止対策は

A

全町防護柵方式で実施する

エゾシカ被害防止対策

問 現状と成果、今後の対策、課題は。



渡部孝樹議員

町長 エゾシカによる農業被害は、一時に比べ被害額は減少しつつ、継続的な取り組みが必要と思われる。国の支援を期待しながら、今後とも支援策を講じていく。

問 林業被害はどうなつ

ているのか。

産業経済課長 町内では農産物以外に被害が無い。東胆振管内では、白老町に被害があると報告を受けている。

問 天然林も含むということか。

産業経済課長 そのようである。

問 被害を聞いてないということか、無いということか、分からないということか。

産業経済課長 そういう報告は受けていない。

問 17年の9月

定例会の中でのネットフェンスを全町横断的に実施していく意思に変わりはないか。

町長 全町を防護柵方式でやる。私の約束でもあるので、しっかりと守っていく。

問 狩猟者に対して補助金の率

を高めることはできないのか。

町長 国の支援があれば財源負担は少なくなるので、支援を受けながら今までの町費でやるとしたら、スピードがアップすることは十分考えられる。

問 捕獲に対する今後の体制作りはどう考えるか。

町長 私自身も捕獲して何か別に活用したらどうかと思うが、現状では農業被害を守るだけで精一杯である。

問 侵入防止対策は全町のどれくらいの整備になっているか。

産業経済課長 平成15年から19年までの実績で件数210件、受益面積で1、507ヘクタール、施工距離で237キロ、そのうち電気柵で192キロ、金網フェンスで約40キロ、その他で、総事業費が9、100万円、補助金で4、200万円である。



エゾシカ侵入防止柵（豊沢地区）

一般質問

パワーハラスメント対策・町財政



三國和江議員

Q パワーハラスメントに関する基本方針を制定しては

A 実態があれば十分検討する

問 パワーハラスメント対策

町長 職務上、教育上、能力上の優越的権力、こうしたパワーハラスメントの調査をしたことがあるか。

町長 上司が職権などを背景にして、本来の業務の範囲を超えて継続的に人格と尊厳を侵害する行動と言われているが、職場の実態調査をしたことはない。

問 実例として、「日常業務による過労から職場で倒れ、自宅での家事もできなくなりもう駄目だ」と思い、心療内科に行ったが、体調が元に戻らず職場を去ることになった。」という実態が職場であったことに対して、町と

して改善の方法は考えているか。

町長 このようなことがあつたことに対して、全然知らなかった。極めて残念である。

職員組合では一人一要求の運動を展開し、まとめられた意見や要望は町側に改善要求として提案されているが、これまでにパワーハラスメントに関するものはなく、職場内にパワーハラスメントはないと認識していた。事実確認をしっかりと行って改善策を取っていきたいと考える。

問 労働関係法令上で、良好な職場環境をつくらなければならないという、事業主に課せられた義務が明記されている。平成14年4月11日に施行され

ている厚真町セクハラ基本方針、これに準じてパワーハラスメント基本方針を制定すべきと思うが、**町長** 実態を職場から聞いて、事実であれば十分検討したい。

Q 公債費の抑制策は

A 繰上償還、新規発行債の抑制を行う

町長 平成20年度、繰上償還額を含めて9億6、300万円の地方債の元金償還を予定している。来年度末地方債残高は、90億7、100万円となる見込みであり、4億300万円の減債となる。

問 実質公債費比率18%以上で大丈夫とのことであるが、厚真町は管理団体となっていて、黄色信号ではないのか。

総務課参事 実質公債費比率は、18年度決算では19%になり、今後、北海道に対して公債費の負担適正化計画を提出する予定である。それにより繰上償還、新規発行債の抑制等を行い、早期に18%以下に抑えるよう今計画を策定中である。

町財政

問 来年度の地方債、つまり借金増加の可能性は高いのか。



井上次男議員

Q 事務・権限移譲を受け効率的な行政運営を

A 広域行政の推進は必要である

広域連合と事務の権限移譲

問 広域連合による事務事業の合理化は、避けて通ることができない課題である。1市4町で胆振東部広域連合を立ち上げ、事務・権限移譲を受け入れ、地方分権としての「小さな政府」を目指すべきである。

今が20年先の土台を造るときであり、行政の広域化・集約化による効率的な行政運営を共有し、地域住民の福祉向上の政策を。

町長 地方分権型社会のために、自主・自立する自治体経営を確立する努力を払い、各分野の権限移譲を受け、地域が自立する地方社会の実現を目指している。

小規模町村が安定した自治を経営するために、広域連携を図り、合理的で効率的な事務事業が執行される事務組合や広域連合を推進しなければなら

ないと思う。

本町では、今までに事務・権限移譲を受けたのは27件である。

Q 「滞納を防止するための制限措置」の条例化は

A 条例ではなく要綱などの改正で対応したい

町税等の滞納問題と予防措置

問 平成18年度の年度別滞納繰越額が、5千万円にもなろうとしている。なぜ滞納者・不納欠損がでるのか、町民による平等な応分応益負担の点からも予防措置が必要ではないか。

滞納者に対して、一部の行政サービスの制限を実施している自治体もあり、公平性を確保され町民からも理解を得ること、町税の収納率も高くなっている事実がある。納付について著しく誠実性を欠く方のみが対象としての予防策である「滞納を防止するための制限措置」の条例の制定をしては。

町長 本町における滞納状況は、一般会計で4、910万円、町外分780万円、法人に係る分は2、520万円である。

町税の滞納の原因は、低所得、居所不明、事業

不振・失業による担税力の低下、破産、死亡などがある。

補助制度は農林水産業・商工業をはじめ実施しているが、町税を滞納している者に補助してないのは、下水道関係のみである。

税金を真面目に払っている人も、滞納している人も同じ行政サービスを受けることは、公平性の確保という点からも不合理であると思う。下水道事業の補助申請の要件として納税証明の添付を義務付けているが、他の補助制度についても、条例の制定ではなく、要綱などの改正で対応したい。

町税の18年度決算の収納率は、現年度分99・8%で胆振管内1位、滞納繰越分5%、合計で97・7%で胆振管内1位となっている。この状態を維持し、さらなる努力をし、滞納の減少に努めていく。

町の行財政・企業誘致・町内小学校の管理と教育



木村幸一議員

Q 今後の自主財源確保に対する取り組みは

A 徴収率の向上、企業誘致、定住促進などを推進する

町の行財政

問 町の主な税財源は、減価償却により、毎年減少が避けられない状況にある。町民生活に必要な可欠な公共サービスを安定的に供給するためには、社会経済の急激な変動や緊急時においても、機動的な対応が可能な財政を維持することは自立の町としての大前提であり、厳しさが増す状況の中で、健全な財政運営のためには、歳出の見直しばかりでなく、必要な財源確保を考えなければならぬと思うが。

町長 歳入面での対策は、自主財源の確保ということにつきるが、地方税、使用料及び手数料、財産収入の増収に資する取り組みとしては、徴収率の向上、企業誘致、定住促進、産業振興、受益者負担の適正化、施設利用率の向上、普通財産の処分及び運用の効率化であると思う。

問 本町の財源の基礎である各種税をはじめとして、使用料の収入未済額が年々多くなってきた。滞納額が多くなれば、収納も難しくなり財政に対する影響も大きくなり、収納率を上げる必要があると思うが。

町長 職員は夜間徴収等で一生懸命やっている。納めやすいように分納や月払い等の指導もしながら収納に当たっているが、成果がなかなか上がらない。今後は要綱等を作って根強く指導していきたい。

Q

企業誘致活動の成果は

A

大きくはないがかなりの数の企業が進出している

企業誘致

問 今まで厚真町は、長年企業誘致を行ってきたが、なかなか成果が上がっていないように思われるが、どのような方法で行ってきたのか。

町長 厚真町にアクセスのあったところへは訪問している。平成4年からあまり大きくはないが、かなりの数の企業は来ている。これからも1社で

も多く厚真町で事業展開していただくよう誘致活動に努力していく。

町内小学校の管理と教育

問 今、町内の小学校で複式学級を編成して授業が行われているクラスはいくつあるか。

教育長 複式学級を編成し授業が行われている学校は、富野小学校と軽舞小学校の2校である。複

式学級は、富野小で3年と4年で1学級、5年と6年で1学級の2学級である。軽舞小学校では、1年と2年で1学級、3年と4年で1学級、5年と6年で1学級の3学級である。

問 今、町内で授業が行われている小学校の4校それぞれの年間維持費はいくらになっているか。

教育長 正職員の人員費、地方債借入償還額を除いて、各学校の年間維持費は、厚真中央小学校は3,956万4,000円、上厚真小学校は2,461万7,000円、富野小学校は911万円、軽舞小学校は1,153万2,000円である。

Q 町保育士の賃金は同一労働二賃金でよいのか

A 是正をしなければならぬ

保育行政

問 宮の森保育園は、通年保育になつていてもかかわらず、臨時職員だけで対応している。責任を持てる正職員の配置が必要でないか。

町長 宮の森保育園の保育士は、通年で雇用はしているが、厳しい財政運営の中で、職員定数の削減を実施しており、正職員として配置することは難しい。

問 1歳児からの受け入れも始まる。この状況で臨時職員だけの職場でよいのか。

町長 状況により保育士の増員も考えている。

問 同じ保育の仕事を行うのに、正職員と臨時職員の二つの報酬になつて

いる。臨時保育士の待遇は改善されるべきでないか。

町長 基本的には、同一労働同一賃金が正しいと思うが、賃金の格差はある。給与表に基づいているが、毎年昇給するわけではない。十分検討して是正をしていかなければならない。

問 地方公務員法により6ヶ月を超えない期間で採用し、6ヶ月を超えない期間で更新をするというが、空白は無いのか。

町長 臨時職員の契約更新には、2週間の空白がある。この空白には何らかの対応はしなければならぬ。

問 常設保育園の保育コストは、へき地保育園の2倍になつている。コス



海沼裕作議員

トを下げ、保育料を下げることは不可能か。

保健福祉課長 交付税算入額は、常設保育園に810万円くらいある。児童福祉法に沿った保育士を配置している。人件費を削減しても保育料の反映にはならない。

問 宮の森保育園も対象とした正職員の人事異動

は必要でないか。

町長 正職員が宮の森に異動になると、今までの人間関係もあり、やりにくくなるのではないかとと思う。正職員を向けることは難しいと思う。

問 保育園を外部委託にすると、どのくらいの費用になるか。

保健福祉課長 常設保育園は、職員の配置、身分保障から外部委託はできない。へき地保育園は、臨時職員の身分保障はできるが、今より金額は高くなると思う。



平成16年度から通年保育となった宮の森保育園

町民のこえを募集

厚真町議会では、議事を傍聴した感想や「あつま議会だより」を読んだ感想、厚真町議会へのご意見を募集します。

投書について

投書される方は、用紙に300字程度までにまとめ、自分の名前と電話番号も書いてください。

「あつま議会だより」への掲載は、匿名を原則とします。

投書されたご意見・ご要望については、「議会だより」にて、その処理の結果についてお知らせいたします。なお、名前等の記入がない投書については、取り扱わないこともありますので、ご注意ください。

※投書は、FAXでも結構です。

FAX 0145-127-2328

公共施設の維持管理・子育て支援・農畜対策・行政改革・現金の管理方法

Q 公共施設の維持管理 計画は

A 維持補修基金を積んで対応する

公共施設の維持管理計画

問 公共施設の維持管理については、故障が発生したときに対処的に行われているが、管理計画はないのか。

町長 管理計画はないが、基金を積んでいるので、それに対応する考えである。消耗品などの点検は常に職員が行っているの
問 基金の積立額はいくらか。

町長 今年の3月末で5、300万円である。

問 スタードームの幕の張替え計画はあるか。

教育長 幕の耐用年数は、20年だと考えているので、

今は考えていない。

建設課参事 幕の耐用年数は30年で設計している
問 地球環境破壊による紫外線
の耐用年数が短くなっている
町長 地球環境の変化については、認識しているが、財政の関係もあり、幕の状態については、調査もしたくないと思っ

ている。
子育て支援
問 子育て支援について、平成19年第2回定例会のエンゼル基金に関する質疑の中で、横断的
子育て支援フォローを近々作ってみたいと答弁している



下司義之議員

が、その後どうなったか。
町長 まだできていないと報告を受けているが、なるべく早い時期に作りたいと考えている。

農畜の総合的対策

問 農畜の総合的対策について、エゾシカのライトセンサー調査については、どのような
しているか。エゾシカ進入防止フェンスの設置効果があったと
考えられるか。

産業経済課長 高丘地区のライトセンサー調査によると、エゾシカ数は、15年度63頭、16年度33頭、17年度19頭、18年度15頭と年々減少しており、エゾシカ進入防止フェンスの効果が
あったと考えられる。

問 その他の厚真町が指定している農畜は何か。

町長 エゾシカ、アライグマ、キツネ、ヒグマなどである。

問 カラスは農業に被害を与える生物という位置づけは
されていないか。

産業経済課長 カラスも有害鳥獣であるが、被害届は農協が窓口になっているが、今年
はカラスによる被害の申し出はない。

行政改革

問 役場のグループが所管する
団体、委員会はいくつあるか。

町長 団体、委員会は80ある。そのうち職員が事務局
を持っているのが16団体である。

問 80団体は、本当にすべて
必要な団体なのか。

町長 すべて必要な団体だと考えているが、統合などにより
効果を上げることがある。

現金の管理方法

問 庁舎内における現金

の管理方法については、適正に行われているか。

町長 庁内で11課17グループ
28業務が現金を扱っているが、財務会計規則により適正に行われている。

総務課長 職員が現金を扱う場合は、通し番号を打った納入原符により管理されている。

生涯学習課参事 スポーツセンターなどでの集金も同じように納付簿により管理されている。

保健福祉課長 集金したお金は、その日のうちに入金するし、夜間集金したお金は、翌日に入金する。

問 請求書の発行は、通し番号が打たれていて、書き損じが起きた場合もしっかり管理されているということか。

会計管理者 そのとおりである。

第1回

追跡レポート!! 一般質問「その後」

「議会だより」では定例会毎に一般質問の要旨を掲載していますが、その後どのように町政に反映されたのか、追跡しました。
(平成18年1月～12月)

【平成18年9月定例会】

滞納徴収業務の一元化

税、国保料などの滞納徴収業務の窓口を一元化して、効率のよい体制を取るべきと思うが。

町長答弁

19年度実施に向けて検討する。

能率、効果などを考えると、どちらがいいかという問題はあるが、19年度実施に向けて検討していきたい。

その後…

一元化は難しい！

税、国保料ともに専門的対応が必要となり、また平成19年4月からグループ制の実施により、職員1人当たりの仕事量の増加、配置などの問題点もあり一元化は難しい。

現在までの経過説明

以前国保料は、医療費から推計した料率は国保担当課で決定し、賦課徴収業務は税担当課で行っていた。しかし、徴収の際に「なぜこんなに高いの？」などの質問に税担当職員では説明ができなかったため、平成12年度から料率の決定、賦課徴収のすべての業務を国保担当課で行うようになった。

【平成18年6月定例会】

本郷地区児童・生徒のスクールバス乗車を

市街地に隣接する地区に学童用バス停があるが、それ以上遠い本郷地区からバスに乗れない。保護者や児童が不公平を感じている。対処の考えは。

教育長答弁

19年度実施に向けて検討する。

19年度幌里、本郷、本郷団地、朝日で児童・生徒数5～6名の減少を見込んでいる。民間のバスを中型から大型に機種変更や予算の増額になる。そんなことを見極めながら19年度に向けて進めていきたい。

その後…

19年4月から実施

美里・豊沢線の乗車人員の減少に伴い、美里・豊沢線大型バスを幌里・本郷線に振り替えることにより、本郷地区の全児童・生徒が乗車できるようになった。



【平成18年3月定例会】

旧フォーラムパークの宅地開発

旧フォーラムパークの市街化区域部分について、宅地開発の考えは。

町長答弁

今後具体的にしていきたい。

住宅地開発に適した土地があるので、ここ1、2年ということにはならないが、これからの計画のなかで具体的にしていきたい。

その後…

平成20年度から具体的計画を作りたい。

18年6月補正予算100万円ですり調査としての開発構想の委託をし、18年10月末238haの市街化区域の宅地開発、企業研修用地としての開発構想が出されている。これを基に平成20年度から市場ニーズを勘案しながら数十haの全体計画と区分け、工区を設定した具体的計画を作りたい。

皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

連絡先：厚真町議会事務局

TEL 0145 - 27 - 2321

E-mail gikaijimukyoku@town.atsuma.hokkaido.jp

12月定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

平成19年11月23日（金）（臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚真町一般職の給与に関する条例の一部改正 (反対者2名) 海沼議員、筒井議員	賛成多数
議案第2号	平成19年度厚真町一般会計補正予算(第4号)	賛成全員
議案第3号	平成19年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算(介護サービス事業勘定補正予算(第1号))	賛成全員
議案第4号	平成19年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	賛成全員
議案第5号	平成19年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	賛成全員
決議案第1号	筒井徳泰議員に対する辞職勧告決議	賛成全員 (筒井議員除斥)

平成19年12月12日（水）（定例議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚真町へき地保育所条例の一部改正	賛成全員
議案第2号	厚真町技術産業等の誘致に関する条例の一部改正	賛成全員
議案第3号	平成19年度厚真町一般会計補正予算(第5号)	賛成全員
議案第4号	平成19年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	賛成全員
議案第5号	平成19年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算(介護サービス事業勘定補正予算(第3号))	賛成全員
議案第6号	平成19年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	賛成全員
議案第7号	平成19年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	賛成全員
議案第8号	平成19年度厚真町一般会計補正予算(第6号) (反対者1名) 今村議員、(採決時欠席者1名) 海沼議員	賛成多数
認定第1号	平成18年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第2号	平成18年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第3号	平成18年度厚真町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第4号	平成18年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第5号	平成18年度厚真町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第6号	平成18年度厚真町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
意見書案第1号	第二期地方分権改革にあたり地域間格差の解消を求める意見書 (反対者1名) 下司議員	賛成多数
意見書案第2号	庶民増税・消費税増税に反対し、大企業・大資産家優遇税制の是正を求める意見書 (反対者1名) 下司議員	賛成多数
意見書案第3号	BSE全頭検査の実施に関する意見書	賛成全員
意見書案第4号	「森林環境税(仮称)」の導入を求める意見書	賛成全員
意見書案第5号	労働法制の拡充を求める意見書 (反対者1名) 下司議員	賛成多数
意見書案第6号	灯油等石油製品の価格を引き下げするための緊急対策を求める意見書	賛成全員

第5回臨時会

11月23日開会

■町一般職の給与改定
人事院勧告が行われ、

町民のこえ

町議会に望む

去る7月に起こした某氏の飲酒運転事故は、副議長の任としては悪い事と猛反省し辞任した。

すでに交通事故は2回であり、それが新聞、テレビで放映され、5、000人町民の中では類の見ない恥ずかしい姿である。町民が何人か集まればこの話題が中心となる。もっと透明で新鮮味あふれた厚真町をつくってください。

また、9月には罰金30万円、免許90日の確定、まだ罰則が軽かったと言う町民も多々いる。これ

本町職員の給与についても国家公務員に準じて改定されました。

■一般会計補正予算

消費活性化特別対策事業費の増、一般職の給与改定に伴う給与費の増などで、792万3、000

だけ町民に激怒を与えた罪は、厚真町に歴史的にない。これ以上に激怒させないことが肝要である。

2回目の辞職勧告を無視していることは、議会軽視もはなはだしく、町民をばかにしていることだ。

町民1人当たり約9、800円の議会費だ。無駄に使わないでください。特別職等が外部へ出るときに、肩身の狭い思いをするのは許せない。

町民が1日も早く明るい話題で笑える明るい町づくりのための議会の前進を望みます。

平成19年12月15日

厚真町字軽舞329の2

浅田 政則

0円を追加し、予算の総額は54億7、773万4、000円になりました。

■3特別会計予算を補正

介護保険事業特別会計、簡易水道事業特別会計及び公共下水道事業特別会計については、一般職の給与改定に伴うもので、

介護保険事業特別会計は1万9、000円を追加し、予算の総額は9、361万9、000円に、

簡易水道事業特別会計は5万7、000円を追加し、予算の総額は2億2、635万7、000円に、公共下水道事業特別会計は、5万8、000円を追加し、予算の総額は1億6、805万3、000円になりました。

■筒井徳泰議員に対する辞職勧告決議を可決

井上議員ほか9名の議員から提出された2回目となる筒井徳泰議員に対する辞職勧告決議については、可決されました。

あとがき



昨年は、食品についての偽装事件が全国的に多い年でした。食についての安心安全が崩れました。1回信用を落とすと、取り戻すことは大変時間がかかると思います。

厚真町においても7月の低温でお米は不作でした。原油高騰により燃料

が上がりに、生活、仕事には大きな影響を受け価値上げがあり、厳しい状況にあります。

今年は、12支の中で始まる「ねずみ」年です。今年は、町民の皆さま、厚真町においても良い年でありたいと思います。

私たち議員も議会活動に取り組み、一生懸命頑張っていきます。

広報委員 木戸 嘉則



11 月

- 6日・総務文教常任委員会
- 12日・議会広報特別委員会
- 13日・胆振東部市町議会懇談会（安平町）
- 14～16日・決算審査特別委員会
- 19～20日・地方自治法施行60周年記念式典（東京都）
- 21日・議会運営委員会事務調査（白老町、安平町）
- 23日・平成19年第5回臨時議会
・議会運営委員会
- 27～30日・全国議長大会・胆振支庁管内町村議会議長会道外視察研修（東京都、長野県、神奈川県、静岡県）
- 27日・清里町議会視察来町

12 月

- 5日・議会運営委員会
- 7日・胆振支庁管内町村議会議長会第2回定期総会（安平町）
- 11～12日・平成19年第4回定例議会
- 11日・議会運営委員会
- 12日・議会広報特別委員会
- 20～21日・町単独中央要望（東京都）

1 月

- 7日・議会広報特別委員会
- 17日・議会広報特別委員会
- 23日・産業建設常任委員会
- 24日・総務文教常任委員会